

平成 27 年度の基金運用利回りは全国トップクラスの 3.17%（宗像市）

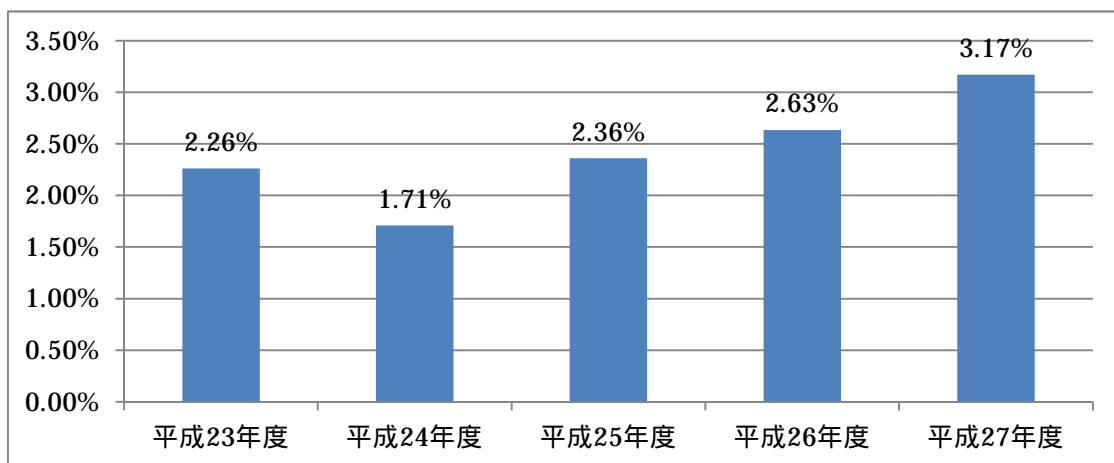
低金利が続く基金の運用利回りが 1%に満たない自治体が多い中、平成 23 年度から積極的な基金運用改革を行ってきた宗像市ではここ数年、運用利回りが 2%前後で推移してきましたが、平成 27 年度は全国トップレベルの 3.16%（見通し値）まで実績を上げることができました。

平成 27 年度当初の**基金残額は約 190 億円でその運用益は約 6 億円**。その多くを財政調整基金、減債基金、公共施設維持更新基金に充当する予定です。

この非常に高い利回りの要因は、いくつかに分かれている基金の一括運用することや償還期間 20 年の国債を中心とした債券の運用を積極的に行ってきたものです。

地方自治体の財政状況が厳しくなる中、基金造成とその運用の重要性は、さらに増していくと思われます。

過去 5 年の基金運用の利回りの推移



単位：千円

	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度
利回り	2.26%	1.71%	2.36%	2.63%	3.17%
基金残高	19,730,826	20,616,623	20,720,909	20,789,882	19,053,136
運用益	446,257	352,387	488,993	547,649	603,946

問い合わせ先 宗像市会計管理者 小田重和
0940-36-1357